

I 実践

1 研究主題

生徒の人権感覚や人権意識を育成するための教育活動の充実と人権教育推進計画の工夫・改善

(1) 主題設定の理由

人権の基本にあるのは、一人一人の人間の尊厳である。そのため、本校は「茨城県人権施策推進基本計画」に基づき、「教育活動全体を通して人権尊重の精神を養うとともに、差別や偏見をもたない児童生徒の育成」を目指している。これを踏まえ、教科や領域での教育活動全体で体験的な活動や話し合い活動を通して理解を深めることができれば、一人一人の人権に対する意識を高めることができると考え、本主題を設定した。

(2) 研究のねらい

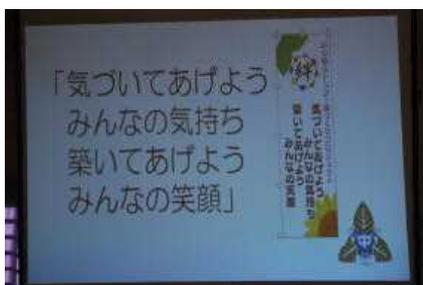
各教科、道徳、特別活動等の学校生活全体を通して、人権教育の充実を図り、人権尊重の精神の育成を目指す。

2 実践内容

(1) 学校全体としての取り組み ～いじめストップ！ 絆づくりプロジェクト～

ア いじめストップ！ 絆づくりプロジェクトフォーラムの開催

今年度久慈中学校は久慈小学校，東小沢小学校とともに「いじめストップ！ 絆づくりプロジェクト推進モデル学区」の指定を受け，様々な取組を行った。各校の取組を紹介する場として「いじめストップ！ 絆づくりプロジェクトフォーラム」を開催した。



【久慈中学校の発表】



【絆を深めるための代表者の話し合い】



【いじめ撲滅宣言の採択】

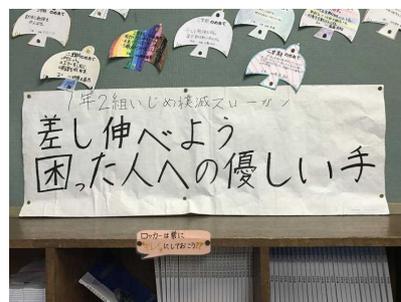
イ 全クラスで「いじめ撲滅」のためのスローガンを考え，各クラスの「いじめ撲滅宣言」を発表



【生徒総会で発表】



【黒潮祭での発表】



【学級掲示の様子】

ウ 各クラスの「絆づくりプロジェクト」への取組

全校生徒による人権メッセージの作成に加え、各クラスで「絆づくり」をテーマに掲げ、人権メッセージのクラス代表作品の選定に加え、それぞれが独自の取組を行った。



【絆プロジェクトへの取組報告】



【人権メッセージ優秀作品】



【道徳の授業実践】

(2) 地域との交流

久慈中生としての活動を行うことにより、集団の一員として役割を果たしたり、自覚をもって行動したりすることができる。



【小中合同あいさつ運動】



【リサイクル活動】



【地域のふくしまつりに参加】

3 成果

- ・「いじめストップ! 絆づくりプロジェクト」への参加によって、一人一人の違いや個性を認め、尊重する意識、困っている友達がいたら助けようとする心、いじめという行為を見過ごさない・許さないといった雰囲気が育まれてきた。また、それを黒潮祭で発表することによって、学校全体として「いじめを許さない」という意識を共有することができた。
- ・人権メッセージやいじめ撲滅宣言などが教室内や廊下に掲示されていることや、道徳の授業、学年集会や全校集会、黒潮祭等の活動を通して、生徒の言動に変化が見られている。トラブルのもとになるような厳しい言葉のやりとりでなく、相手を思いやるような言葉かけが増えた。
- ・各学年で行っている指導や声かけの成果により、情報機器を介したSNS等でのトラブルの数が減少してきている。

II 今後の課題

各教科や道徳、総合的な学習の時間・学校行事など教育活動全体の中で、人権に対しての取組をさらに充実させ、生徒一人一人の人権感覚や人権意識を高めていきたい。今年度は昨年度始まった「いじめ撲滅運動」を発展させ、「絆づくりプロジェクト」として生徒会を中心に活動を行ってきた。こうした取組が成果として現れてきているので、今後も活動を継続・発展させていきたい。今年度は久慈小学校、東小沢小学校と連携をとりながら活動を進めることができたため、今後本校の取組を、地域に積極的に広報し、連携しながら活動を行うことができるようにしていきたい。